

豊中市立図書館に関するアンケート調査報告書【概要版】

豊中市教育委員会事務局読書振興課

令和2年（2020年）3月

1 調査概要

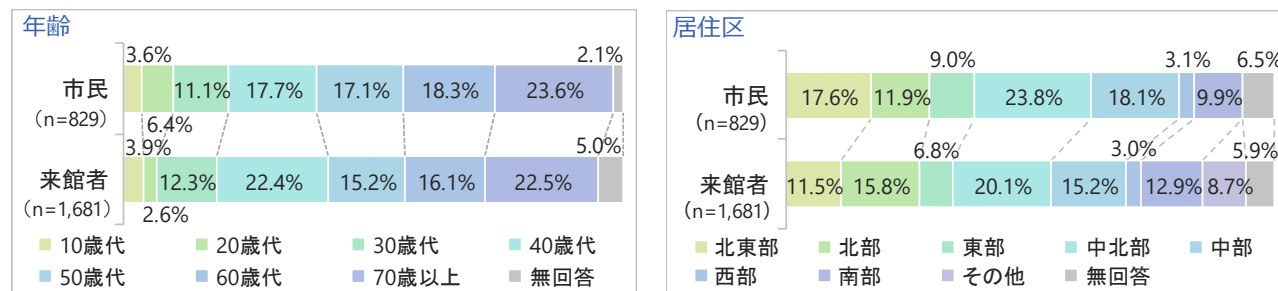
市立図書館の今後のあり方に関する市民意向等を把握するため、アンケート調査を実施した。

項目	市民アンケート調査	来館者アンケート調査
対象	無作為抽出した15～89歳の市民	市立図書館7館の主に中学生以上の来館者
期間	令和1/9/13(金)～10/8(火)	令和1/10/26(土)～30(水) ※休館日除く
配布／回収方法	郵送／郵送・豊中市HP経由	手渡／図書館内設置回収箱に投函
配布／回収数(率)	2,986票／829票(27.8%)	1,995票／1,681票(84.3%)

2 調査結果概要

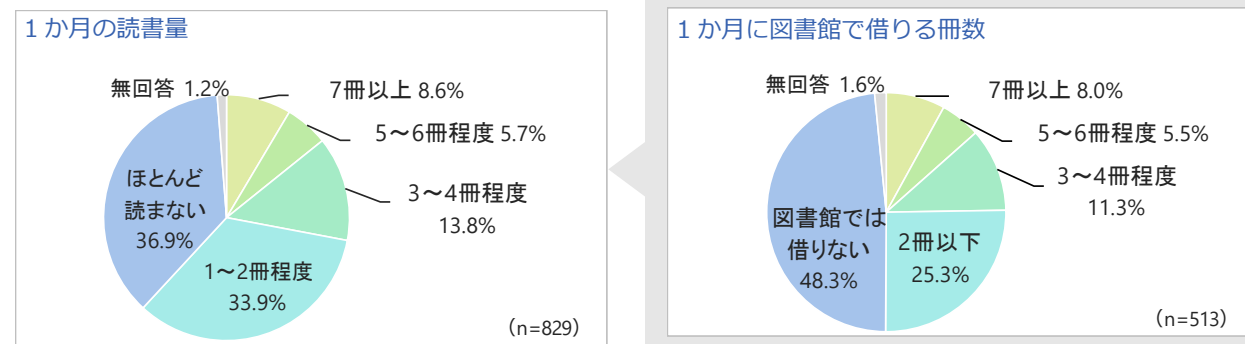
2.1. 属性

- 年齢・職業：70歳以上が20%以上、60歳以上が40%程度を占める。職業は正規社員・職員や家事専業、非正規社員・職員、無職が各20%前後存在。
- 家族形態・居住区：配偶者や子どもとの同居が多く、市民アンケートでは一人暮らしも多い。中北部・中部居住者が多いほか、市民アンケートで北東部居住者、来館者アンケートで北部居住者も多くなっている。

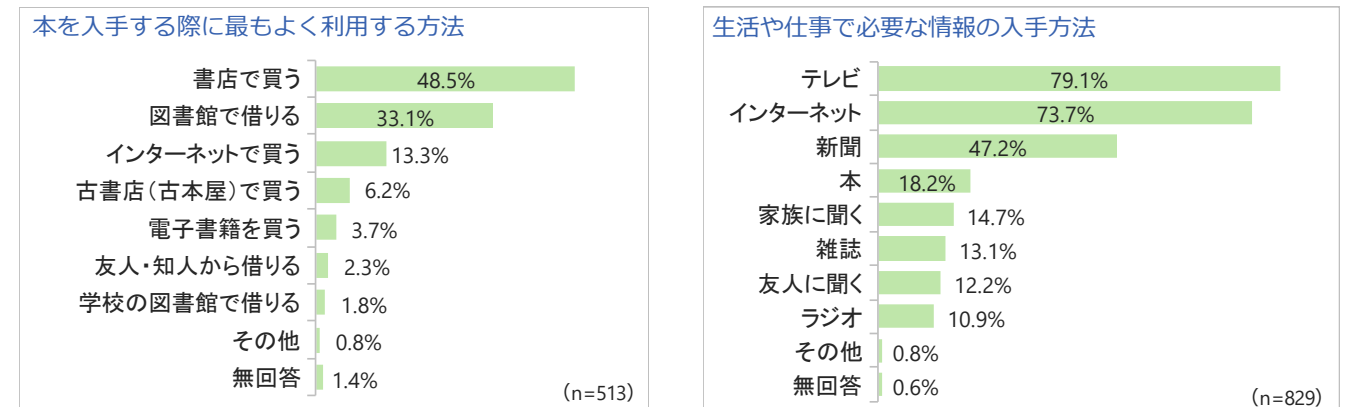


2.2. 読書習慣及び本・情報の入手方法（市民アンケートのみ）

- 読書習慣等：62%に読書習慣、50%に図書館資料の利用が見られる。1か月の読書量では月1～2冊程度、図書館で借りる冊数では月2冊以下の割合が高い。

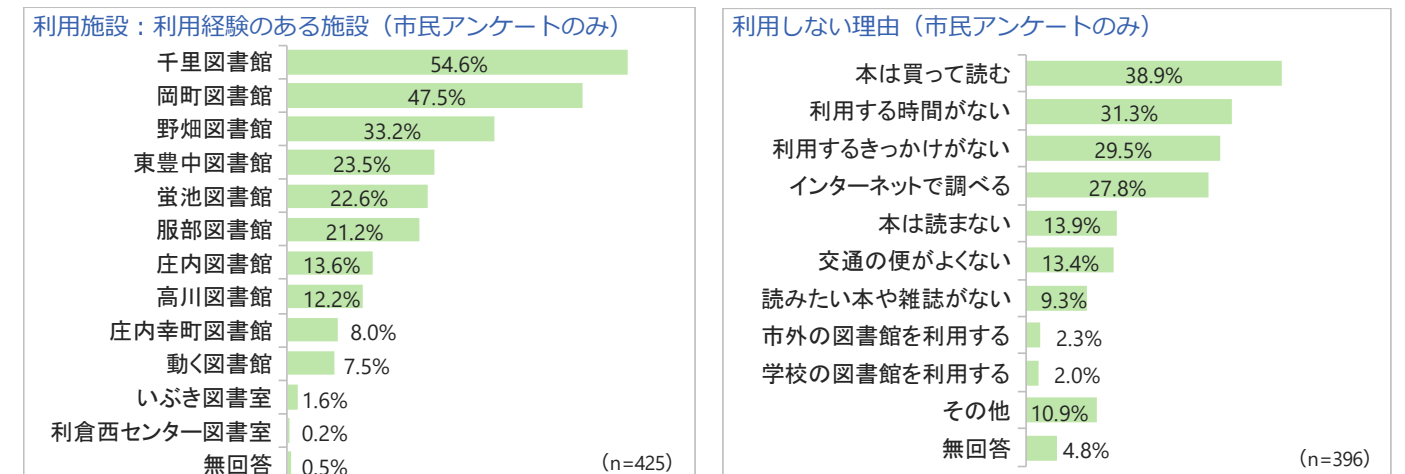
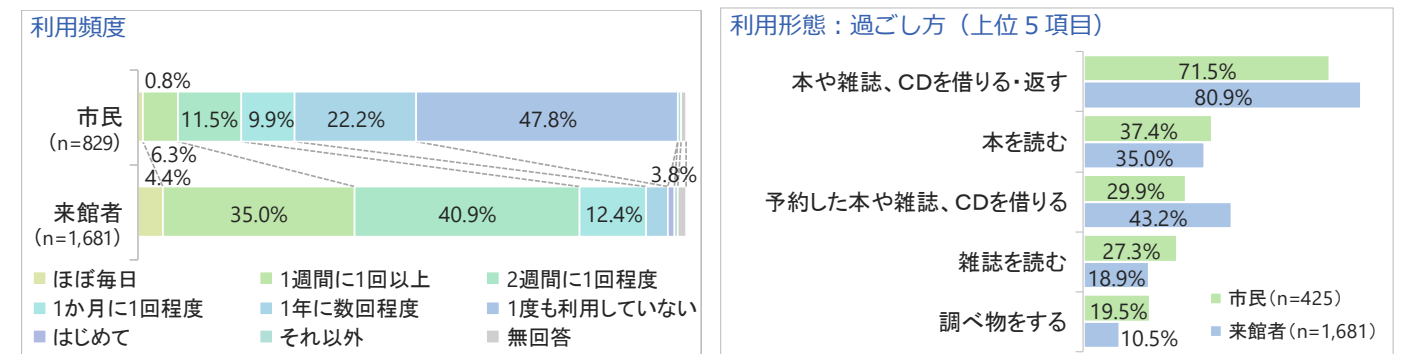


- 本・情報の入手方法：最もよく利用する本の入手先としては書店が半数に選択され、図書館を大きく上回る。生活や仕事に必要な情報の入手方法としてはテレビ・インターネットが主流で、新聞が続く。



2.3. 市立図書館の利用状況

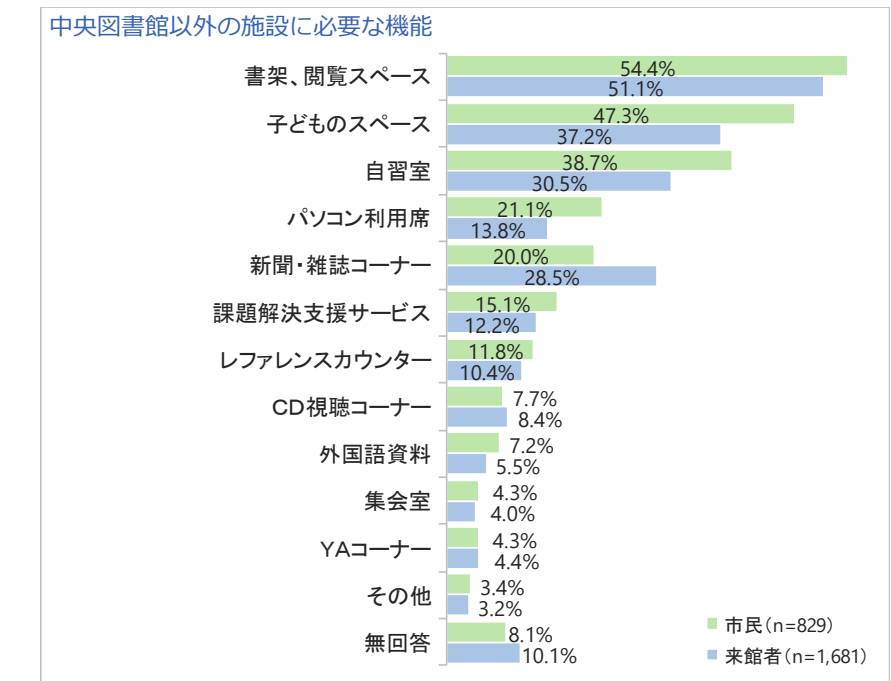
- 利用頻度：市民アンケートでは利用経験のない回答者が半数を占めるが、30%程度の回答者には月1回以上の定期的利用が見られる。一方で、来館者アンケートでは2週間に1回以上利用する回答者が80%存在する。
- 利用施設等（市民アンケートのみ）：千里・岡町図書館の利用率が50%前後と高く、南部3館(庄内・高川・庄内幸町)では12%程度にとどまる。最もよく利用する図書館の理由として自宅から近いためを選ぶ回答者が大部分で、移動手段としても徒歩・自転車が多い。
- 利用形態等：資料を借りたり返したりする際の利用や、1時間未満の短時間利用が圧倒的に多い。
- 利用しない理由等（市民アンケートのみ）：本は買って読む、時間がない、インターネットで調べる、きっかけがないために利用しない回答者が多い。認知度では、市立図書館自体の存在を知らない市民も13%存在する。



2.4. 市立図書館のこれからのあり方

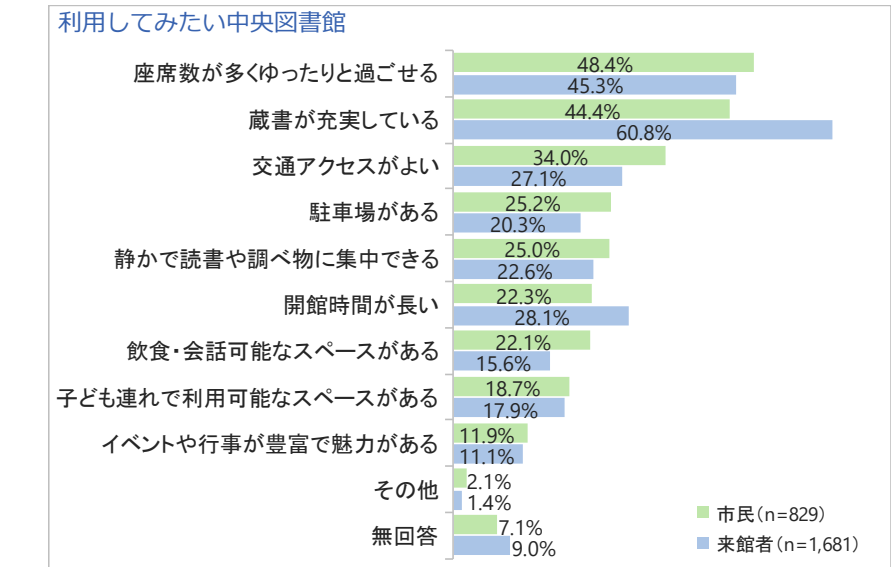
中央図書館整備後の他施設のあり方

- **必要な機能**：中央図書館に機能集約するにあたり、貸出・返却・予約受取以外に他図書館・室に必要な機能としては、書架、閲覧スペース、子どものスペース、自習室などが多くの回答者に選択されている。
- **必要な行事**：子ども向けおはなし会や大人向け講演会、映画会などが必要とする回答者が多い。



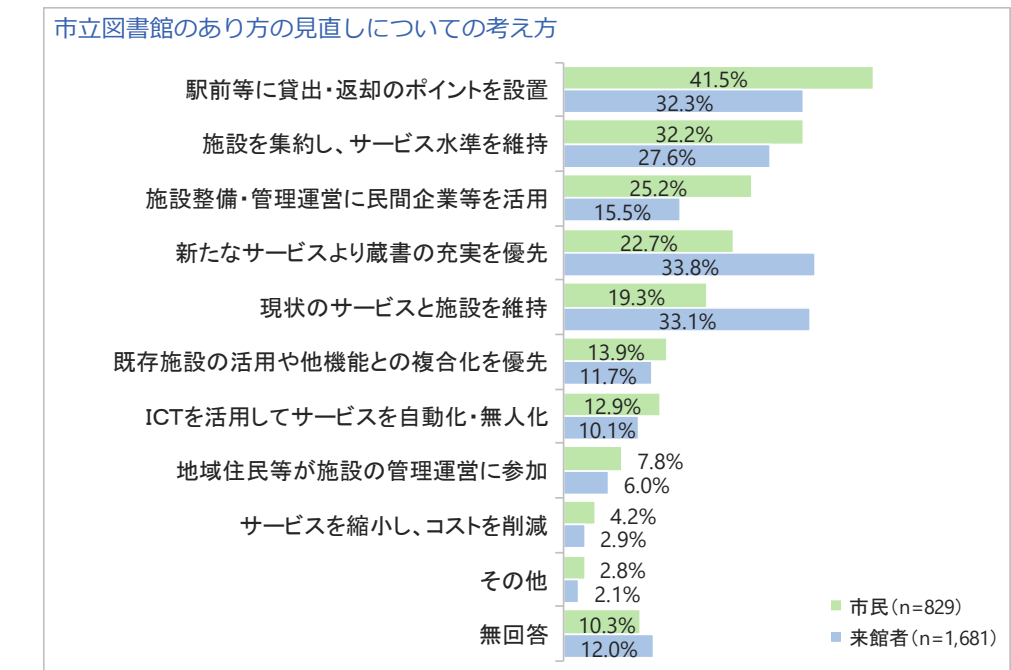
中央図書館のあり方

- **利用してみたい中央図書館**：座席・蔵書が充実した中央図書館への利用意向が多く見られ、特に来館者アンケートで蔵書に対するニーズが高い。
- **あるとよいスペース**：静かな読書空間が約半数の回答者に選択されているほか、子ども連れでの利用や飲食、自習のためのスペースなども必要と考えられている。
- **その他**：開館時間帯は既存館と同様でよいとの回答が 67%を占め、飲食・文化・商業・子育て世代向け施設などとの併設が望まれている。



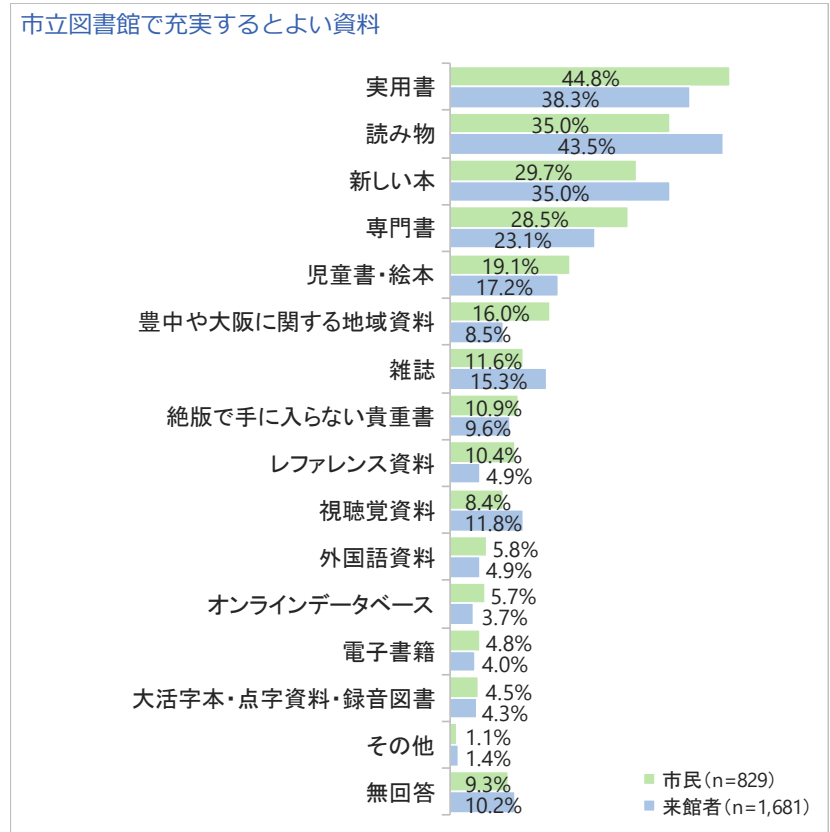
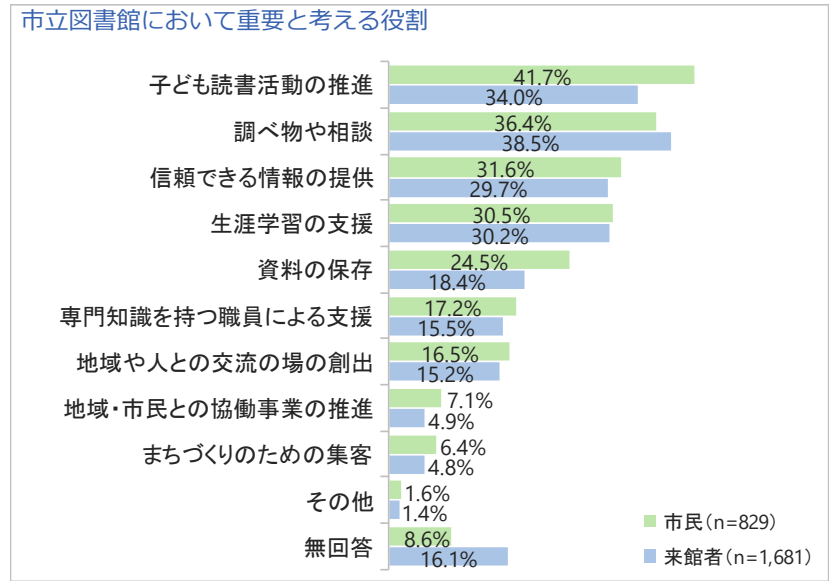
市立図書館全体のあり方

- **重要と考える役割**：子ども読書活動の推進、調べ物や相談への対応、信頼できる情報の提供、生涯学習の支援、資料の保存などが特に重要と考えられている。
- **あり方の見直し方策**：市民アンケートでは駅前などへの貸出・返却ポイントの設置が 42%で選択されたほか、施設の集約や民間企業等の活用も必要と考えられている。来館者アンケートでは、貸出・返却ポイントの設置と並び、蔵書の優先的充実や現状維持を望む回答が多い。
- **充実するとよい資料**：実用書や読み物、新しい本、専門書などが特に多くの回答者に選択されている。
- **充実するとよいサービス**：セルフ貸出・返却が約半数に選択されている。そのほか、インターネット経由のサービスや児童サービス、医療・健康情報サービスを充実するとよいと考える回答者も多い。



2.5. 郷土資料館のあり方等（市民アンケートのみ）

- 市内の歴史・文化財の中では、マチカネワニや高校野球発祥の地記念公園の認知度が 50%を上回る。
- 54%の回答者が郷土資料館を展示見学目的で利用してみたいと考えているほか、史跡散策や講座に参加したり、実物に触れたりしてみたいと考える回答者も 25%前後存在する。
- 豊中の自然史、明治・大正・昭和の暮らし、住宅都市のおいたち、市内散策など、市民生活により身近と考えられるジャンルに関する展示や講座が望まれている。



2.6. 市立図書館に関するその他の意見・要望等

- 市立図書館では、子どもや若者、成人、高齢者といった主体に応じた居場所の提供や、市民同士をつなぐ場の提供といった機能も重視すべきとの意見が見られる。
- サービスに関しては、利用要件の緩和や活発な情報発信、開館日数の拡大などを望む意見が見られる。
- 市立図書館施設の再配置に関しては、中央図書館整備後の利便性確保を望む意見や、動く図書館の見直しなどに関する意見も見られる。